



Plan for the future

第2章

基本構想

第2章 基本構想

1 奥出雲町のめざすべき姿

総力戦のまちづくり「奥出雲創生」 ～つながりで築く 幸せと笑顔あふれるまち 奥出雲町～

近年、価値観・コミュニティの多様化、人口減少の深刻化、高度情報社会の到来など、社会情勢がめまぐるしく変化しており、住民主体のまちづくりや住民と行政の協働、住民一人ひとりの活躍がますます重要視される時代となっています。

本町においても、全国的な傾向と同様に、少子高齢化やライフスタイルの多様化など様々な要因を背景に、近所づきあいや地域コミュニティの希薄化が進んでいます。

その一方で、まちづくりや地域活性化などに関する多様な活動も展開されており、それらの連携・協働による「地域力」の更なる向上が求められています。

地域における人と人、団体と団体、活動と活動、地域と地域など、町内のあらゆる「ひと・もの・こと」がつながること、新たな価値・魅力の創出や課題解決に向けた取組の実践を目指します。奥出雲町の魅力に磨きをかけ、新たな魅力を創出し、発信することで奥出雲ファンを増やし、「交流人口」や「関係人口」を拡大することで若者世代やUターン者等の様々な世代、多様な人材の移住定住を図ります。

また、まちづくりの主役である住民一人ひとり（もしくは団体・組織）の暮らしの場である「地域」の主体性や多様性を確保し、世代や地域を超えて、まちづくりを「自分事」と捉え、みんなで知恵や力を出し合いながら、住民自らがまちづくりに参画できるよう「ひとづくり」「場づくり」「仕組みづくり」を進めていきます。

住民一人ひとりや地域団体、NPO、企業、行政等がつながりを築き、住民にとって「住み続けたいまち・住んでよかったまち」、町外に暮らす人にとって「住みたいまち・帰りたいまち」「気になるまち・関わってみたいまち」になるよう、子育て・教育を充実させ、産業に活力を生み、安心して暮らせる生活基盤の確保と暮らしが幸せだと実感できる生活環境をつくり、自分らしくいきいきと幸せで笑顔があふれる暮らしができるまちを目指します。

2 まちづくりの姿勢

様々な世代がチャレンジ・活躍できる「総力戦」のまちづくり

一人ひとりが小さくても夢を持ち、様々な人がつながり、形にしていけることが、めざす姿である「幸せと笑顔があふれるまち奥出雲町」につながります。

「奥出雲町のめざすべき姿」の実現にむけて、住民、事業者、団体、行政など奥出雲町に関わるすべての人々がアイデアを出し合い、つながりあいながら「総力戦」でまちづくりを進めます。とりわけ若い世代の夢や挑戦をあらゆる世代や立場の人々が応援して一緒に実現を目指す、そんな「様々な世代がチャレンジ・活躍できるまちづくり」を基本姿勢とします。

3 まちづくりの理念（政策の柱）及び基本目標

（1）理念

理念Ⅰ 子育て・教育の充実と奥出雲を担う人づくり（子育て・教育・定住）

幸せな未来をつくる出会いづくりや子育て世代の経済的負担を軽減し、若い世代が安心して子育てができる環境を整え、幼稚園から高校・専修学校まで奥出雲町ならではの魅力的な学びの場を提供し、「住みたい」「住んでよかった」と思える子育てが幸せにできるまちづくりを進めます。また、奥出雲のファンを増やす取組を充実させ、関係人口を拡大することで、若者世代やUターン者の移住定住につなげます。

子どもたちが健やかに育ち、教育や文化活動を通じて一人ひとりが地域に誇りを持つことで、人口減少により直面する地域課題を地域に暮らす住民自らが考え、課題に立ち向かう強い心を次世代につなげ、子どもから大人までだれもが活躍できるまちづくりを進めます。

理念Ⅱ 活力ある産業の振興（産業・雇用・担い手育成・観光振興・ブランディング）

奥出雲町における農業とその営みが創り出す農村風景は、かつて栄えた「たたら製鉄」により、自然から永続的に資源を取り出せるよう管理された地域産業から生み出されました。農業、林業、畜産業を含むこの循環型の産業形態は、豊かな自然と美しい景観を守りつつ、奥出雲ブランドとして高品位な農林畜産物を育み、現在の地域経済を支えています。

奥出雲町は、先人から受け継いだ循環型の産業形態によって創り出された環境を礎に、デジタルやICTなどの先端技術を取り入れ、農林畜産業やものづくり、観光などの地域経済活動に連鎖させ、農林商工それぞれの事業活動を後押しし、新たな産業による雇用の創出と人の流れを生み出す活気あるまちづくりを進めます。

理念Ⅲ 安心して暮らせる生活基盤の確保とまちづくり（防災・減災・生活基盤・まちづくり）

我が国の国土は、地形、地質、気象等の面で災害を受けやすい条件下にあります。奥出雲町においても、防災・減災・国土強靱化にむけて、大規模自然災害等に備え、風水害や地震災害に対する直接的な予防対策をはじめ、迅速な復旧復興を図るための体制と取組を整える必要があります。

生活空間として適度なまとまりのある奥出雲町は、伝統行事や集落活動を通じた人々の心のつながりにより、お互いの顔が見える温かい地域コミュニティが形成されています。脱炭素や新エネルギーの導入などにより、自然と共生する循環型社会を構築し、住民・団体・企業・行政の協働により、健康と安全を守る体制をつくるとともに、快適に生活できる社会基盤を整えることで、誰もが安心・安全、快適に暮らせる持続可能なまちづくりを進めます。

理念Ⅳ 奥出雲の暮らしが幸せだと実感できる生活環境づくり（福祉・医療・スポーツ・文化）

人生100年時代を迎え、奥出雲町にも高齢化の波が押し寄せています。高齢化率は45%を超え、高齢独居世帯が増加するなど、私たちが暮らす地域社会は大きく変化しています。奥出雲町では、医療・介護・生活支援などそれぞれの組織・施設が一体的な連携を図り、地域包括ケアシステムを充実させ、赤ちゃんから高齢者まで、すべての世代が住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けられるまちづくりを進めます。

また、芸術文化活動やスポーツ振興を通じて、いきいきとした心と身体をつくり、明るく活力に満ちたまちづくりを進めます。

(2) 基本目標

目指すべき姿を実現するための、まちづくりの目標として基本目標を定めます。

基本目標 ① 子育てが幸せにできるまち

若者が幸せな未来をつくる出会いをつくり、子育て世代の負担軽減や生活環境を整えることによって、安心して子育てが幸せにできる環境をつくります。

基本目標 ② 魅力的な学びの場があるまち

次世代を担う子どもたちが、奥出雲町へ愛着と誇りを持てるよう、奥出雲ならではの特色あるふるさと教育等を行い、幼稚園から高校・専修学校まで魅力的な学びの場をつくり、学力の向上や進路選択の幅がひろがるよう、教育の充実を図ります。

基本目標 ③ 大人も子どもも成長できるまち

大人も子どもも地域の「ひと・もの・こと」を学ぶ機会を提供するとともに、多世代交流や国際交流等を通して、地域の人々が活躍できる仕組みづくりや世代を超えたつながりを育む活動の充実を図ります。

基本目標 ④ だれもが活躍できるまち

若者や女性をはじめとする多様な人材の声を地域づくりに反映し、活躍できる仕組みをつくることで、すべての世代が笑顔で暮らせる社会づくりを進めます。

基本目標 ⑤ ここに住みたい、住んでよかったと思えるまち

ライフスタイルにあった住みたい環境づくりや伝統行事や地域活動などの交流を通じた関係を築くことで、移住・定住促進や関係人口の拡大を図ります。

基本目標 ⑥ 自然と共生した資源循環型産業があるまち

日本農業遺産にも認定された、自然と産業が共生する循環型産業を軸として、豊かな自然を守りながら、質の高い農林畜産物を育みます。

基本目標 ⑦ 奥出雲ブランドが輝くまち

奥出雲町には全国的なブランド力を誇る「仁多米」をはじめとする高品位な農林畜産物や食の安全にこだわった農産加工品、算盤などの伝統産業があります。付加価値の高いものづくりと生産者の所得向上を目指し、奥出雲の強みを活かしたブランディングを進めます。

基本目標 ⑧ 活力ある産業があるまち

農業や食品製造業の基盤を活かした農商工連携や6次産業化などによる産業の創出、地場企業の新たなビジネスチャンスや起業の支援、誘致企業の支援に取り組み、人や企業を惹きつける産業をつくります。

また、多様な人材が活躍できる環境づくりを促進し、ワークライフバランスの実現を図り、魅力ある雇用の場を創出します。

基本目標 ⑨ 働きやすさ・働きがいがあるまち

若者の町内就職を推進するとともに、チャレンジする人材の掘り起こしや人材育成に取り組みます。

基本目標 ⑩ 世界中に魅力が広がるまち

奥出雲町の魅力的な地域資源を活かし、観光商品・観光サービスの充実を図るとともに、受入れ体制の充実、プロモーションを強化し、選ばれる観光地として観光誘客を図ります。

基本目標 ⑪ 暮らしと命が守られるまち

安全で快適に暮らせる生活環境と交通や物流を支える社会基盤整備を進めます。
また、災害や犯罪から日常生活を守り、すべての人が安心して暮らせる環境をつくります。

基本目標 ⑫ 暮らしやすく自然にやさしいまち

安定した生活交通の維持や魅力的な住まいを整備し、暮らしやすい環境を整えます。
また、脱炭素社会の実現に向けてゼロカーボンを目指すとともに、環境に配慮した新エネルギーの導入など、自然と共生した循環型社会を構築します。

基本目標 ⑬ 持続可能なコミュニティがあるまち

小さな拠点づくりを推進し、地域を支える、地域づくりを実践する未来を担う人づくりを行い、持続可能な地域づくり活動を支援します。
また、戦略的プロモーションを実施し、町の魅力や奥出雲のブランドイメージを町内外に発信します。

基本目標 ⑭ だれもが健やかに人生をあゆむまち

地域包括ケアシステムを充実させ、医療、介護、生活支援などそれぞれの組織が横断的に連携し、高齢者が生涯現役で活躍できる場や住み慣れた地域でいきいきと暮らせる環境づくりを進めます。

基本目標 ⑮ いきいきとした心と体をつくるまち

子どもから高齢者まで、健やかで元気な身体をつくり、あらゆる世代が地域を愛し、ふるさに誇りを持てるよう、文化・スポーツ活動を支える環境をつくります。

基本目標 ⑯ 計画の実現にむけて

地方創生SDGsを推進し、住民や民間組織など多様な主体との協働により、政策全体の最適化、地域課題の解決を図ります。

また、スマートタウン構想・自治体DXを進め、業務の効率化や行政サービスの利便性を向上させ、多様化・高度化する住民一人ひとりのニーズに応えます。

4 人口ビジョンと人口減少への対応

(1) 人口ビジョンについて

平成26(2014)年11月の「まち・ひと・しごと創生法」(以下、「創生法」という。)の施行を受け、本町においても、人口減少に歯止めをかけ、活力ある地域社会を維持していくための「奥出雲町人口ビジョン」及びその実現に向けた具体的な施策を取りまとめた「奥出雲町総合戦略」を平成27(2015)年10月に策定し、『人々のつながりと豊かな自然に支えられ、安心できる「まちづくり」』、『ふるさと奥出雲を愛する「ひとづくり」』、『新たな活力と人の流れを生み出す「しごとづくり」』に取り組んできました。

デジタル田園都市構想総合戦略では、これまでの社会経済情勢の変化や人口動向を踏まえ、「奥出雲町人口ビジョン」についても時点修正を行い、長期的な人口の将来展望とそれを実現するための取組目標を改めて設定し、人口対策をさらに効果的に展開していきます。

(2) 第1期(平成27年策定)数値目標

第1期人口ビジョンでは、以下の自然動態・社会動態の取組目標を設定しています。

達成状況については、合計特殊出生率は、策定時1.62から現況値1.70に伸びており、また社人研推計では2020年に1.79とされており取組目標を達成しています。また、社会動態については高校卒業時の町外転出は策定時平均11人/年から年平均8.5人/年まで縮小しており、その他の指標も概ね取組目標を達成できている状況です。

しかしながら、2020年における本町の人口は11,849人であり、第1期人口ビジョンの目標推計における2020年の目標数値12,522人を673人、社人研の将来推計(平成25年3月推計)の値からも、133人下回っており、今後さらに対策を強化していく必要があります。

第1期人口ビジョン 長期的な人口の将来展望

「2010年時点で14,456人である人口を2040年に約10,000人程度確保する」

	数値目標	達成状況
自然動態	①合計特殊出生率を1.62から2040年に2.10まで回復させる(2020年の合計特殊出生率1.78)	2013～2017年間の合計特殊出生率は1.70 社人研の推計では2020年の本町の合計特殊出生率は1.79とされており、取組目標を達成している。
社会動態	①「定住就職奨励金」を活用したUターン者数を40組70人/年から60組100人/年に増加させる。	平成29年度以降の3年間を見ると定住の意向があるUターン者数は60～100人となっており、平成29年度・令和元年度の数値は目標を達成している。
	②就職による転出者数を年間5人抑制する。(104人/年から5人/年抑制する)	平成27年度以降の5年間を見ると、年平均で102人と目標を達成できなかったが、直近の2年(平成30年88人、令和元年71人)は目標を達成している。
	③横田高校卒業時の町外転出者を年間5人抑制する。(11人/年から5人/年抑制する)	平成26年度以降の6年間を見ると、年平均で8.5人が転出で目標を達成できなかった。

(3) 第2期人口ビジョンの数値目標

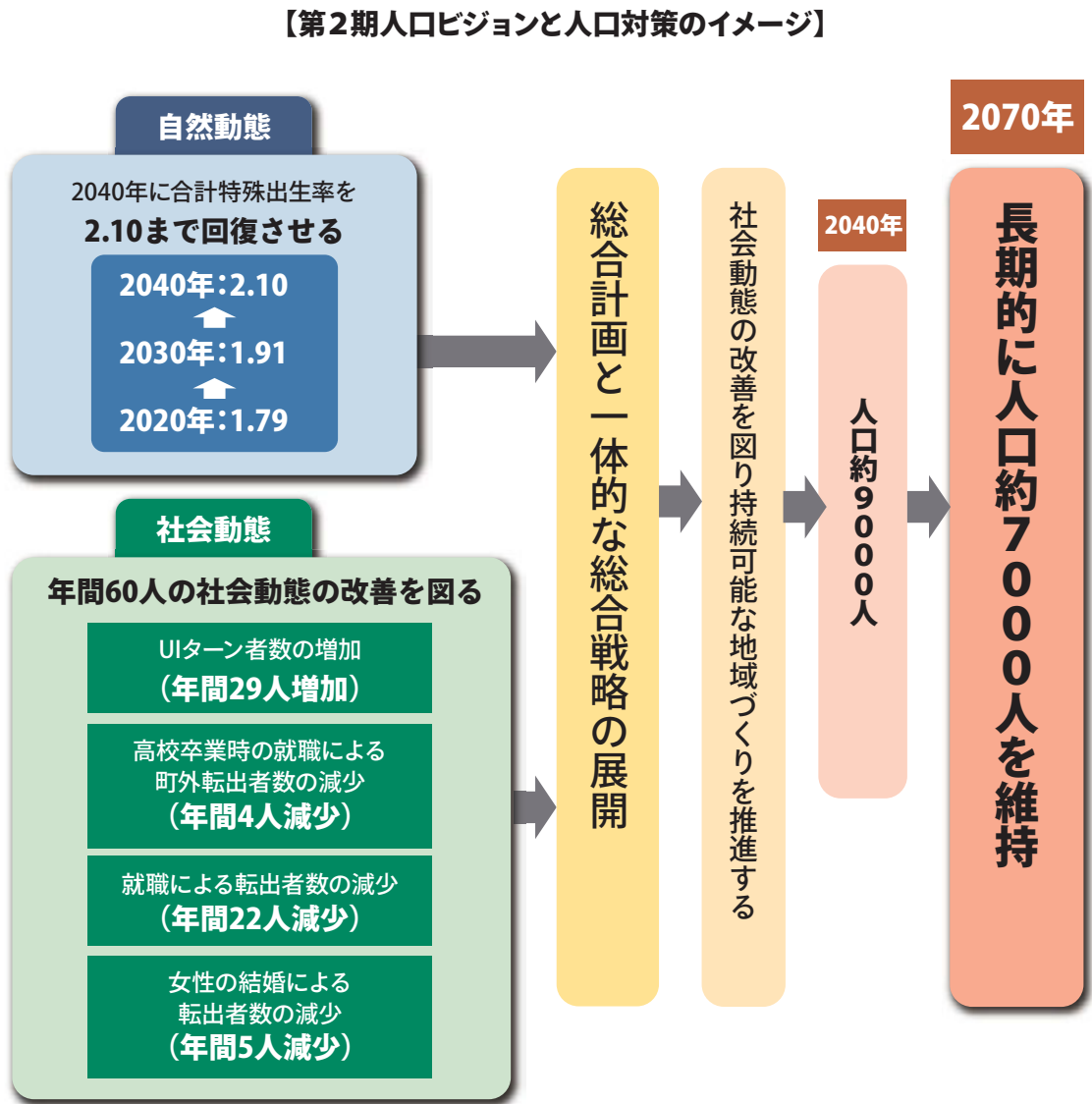
第2期人口ビジョンでは、長期的視野に立って自治体運営が安定的に保たれるよう、若者世帯のUターン促進、若者や女性の転出抑制に着目した条件設定を行い、20年後の令和22(2040)年には約9,000人、50年後の令和52(2070)年には現在の人口の6割にあたる約7,000人で人口規模が安定するよう将来人口の目標を設定しています。

今後は、この将来人口の目標達成にむけ、総合計画と整合を図りながらさらに効果的な人口対策に取り組んでいきます。

第2期人口ビジョン 長期的な人口の将来展望

「2020年時点で11,849人※である人口を2040年に約9,000人に、2070年には約7,000人で減少傾向を止めることを目標とする」

※令和2年国勢調査



5 奥出雲町デジタル田園都市構想総合戦略

本町を含む地方部では、若い世代が進学や就職で流出する「社会減」と出生率の低下という「自然減」が相まって、人口減少と少子高齢化が進行しており、地域全体をどのように維持していくかが大きな課題となっています。

将来人口の目標を達成し、地域運営を持続的かつ発展的なものにしていくため、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の基本目標を踏まえ、以下の取組目標に注力し、全国で定住施策における地域間競争が苛烈化するなかでも、「定住対策」「雇用対策」「結婚支援」「子育て支援」「教育支援」の各種施策を推進することで、定住先として「選ばれる」地域づくりを進めていきます。

目標 ① 稼ぐ地域をつくり、奥出雲町で安心して働けるようにする

地域資源を活かした魅力ある産業を創出するとともに、新技術の導入等により生産性を向上し、地域産業の競争力を強化することで、稼げる地域づくりを推進します。

また、多様化する価値観やライフスタイル、働き方に対応した就業環境づくりをすることで、安心して働ける環境づくりを推進し、担い手の確保に努めます。

目標 ② 都市とのつながりを築き、奥出雲町へ新しいひとの流れをつくる

豊かな自然を享受しながら働く、地域の絆の中で子育てを行うなどの奥出雲町の強みを活かすことで、働き方やライフスタイルにおける若者の希望とのマッチングを図り、Uターンにつなげます。また将来的な移住にもつながるよう、地域活動への参加や寄付・投資など多様な形で地域にかかわる関係人口の創出・拡大に取り組みます。

さらに、進学で一時的に転出しても、やがて奥出雲町にUターンし、地域の未来を支える人材を育成するために、学校教育を通じて子どもが地域と深く関われる学びの体制をつくり、地域への愛着やシビックプライド（地域貢献意識）の醸成を図ります。

目標 ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚・出産・子育ての希望に応えるために、出会いから結婚・出産を支援し、地域での子育てサポート体制の強化により、仕事と子育てを両立できる働き方を推進し、地域や企業などの社会全体で、男女ともに結婚、子育て、仕事をしやすい環境づくりを推進します。

目標 ④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる

医療・福祉、生活交通などの生活に必要な機能を確保し、安心して暮らし続けることができる地域づくりを推進します。また、豊かな自然、文化・スポーツなどの地域資源を最大限に活かし、個性あふれる地域づくりを進めるとともに、住環境をはじめとした暮らしやすい環境を整えることで、人が集う魅力的な地域づくりを推進します。

横断的な目標 ① 多様な人材の活躍を推進する

行政だけでなく、住民、事業者、団体など多様な立場の一人ひとりが地域の担い手として積極的にまちづくりに参画し、女性、高齢者、障がい者、外国人など誰もが活躍できる環境づくりを推進します。

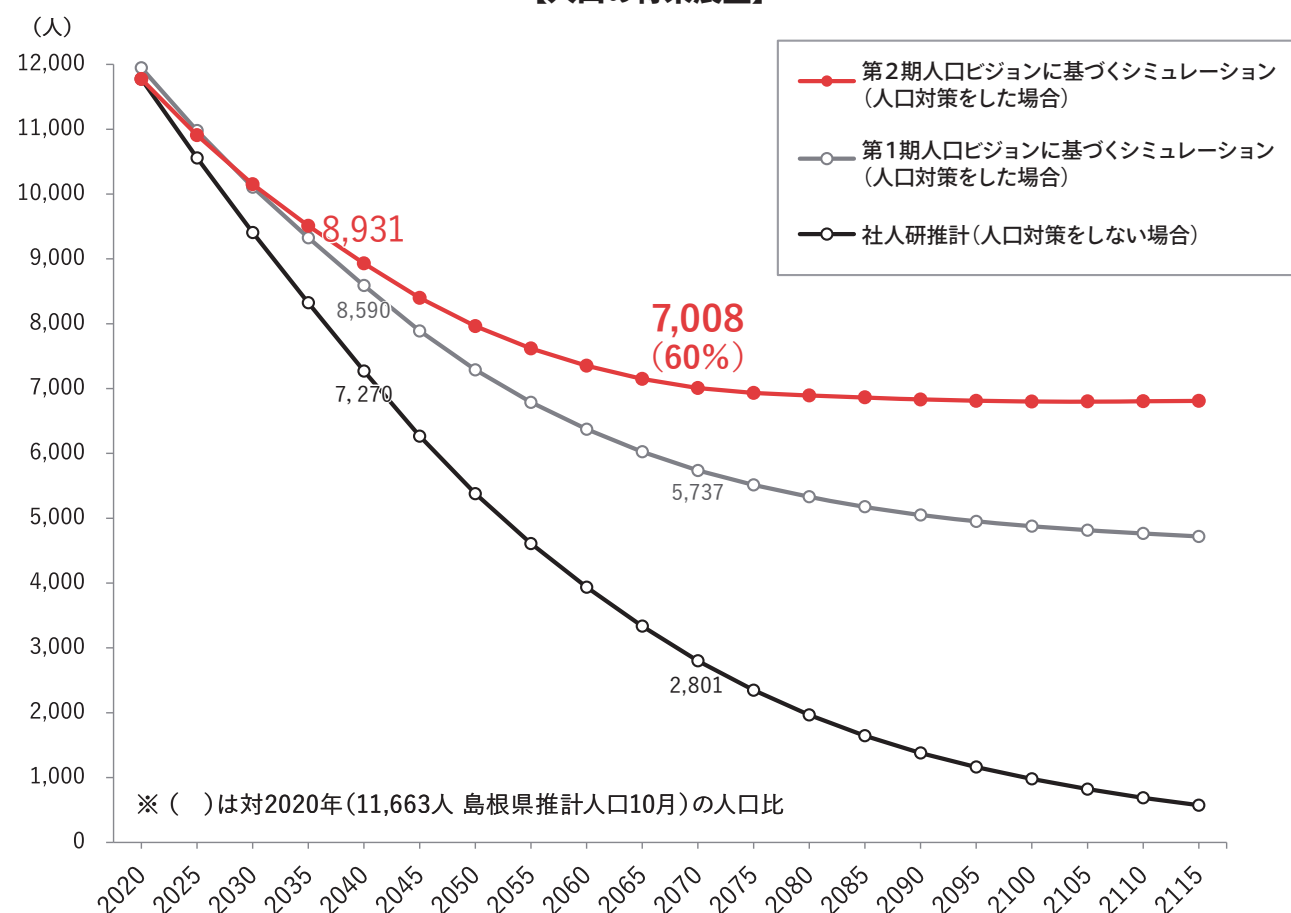
横断的な目標 ② 新しい時代の流れを力にする

デジタル基盤整備、デジタル人材の育成・確保によりSociety5.0を推進し、地域の課題解決や魅力向上を図るとともに、SDGsの取組による持続可能なまちづくりを推進します。

【第2期人口ビジョンと人口対策の内訳】

	内 容	
	詳 細	
自然動態	2040年に合計特殊出生率を2.10まで回復させる	
社会動態	年間60人の社会動態の改善を図る	
	Uターン者数の増加 (年間29人増加)	Uターンによる転入(≒社会増)のうち、二人以上世帯の転入者数を年間29人増加させる。 ＝H29～R1の3か年平均二人以上世帯転入者数69人/年を98人/年まで増加させる。
	高校卒業時の就職による 町外転出者数の減少 (年間4人減少)	横田高校卒業時に、就職により管外(県内)及び県外への転出者数を年間4人減少させる。 ＝H27～R1の5か年平均転出者数8人/年を4人/年まで減少させる。
	就職による 転出者数の減少 (年間22人減少)	就職による転出者数を年間22人減少させる。 ＝H27～R1の5か年平均転出者数102人/年を80人/年まで減少させる。 (特に女性の転出者数を減少させる)
	女性の結婚による 転出者数の減少 (年間5人減少)	結婚を理由に町外へ転出する20代・30代の女性の数を年間5人減少させる。 ＝H27～R1の5か年平均転出者数24人/年を19人/年まで減少させる。

【人口の将来展望】

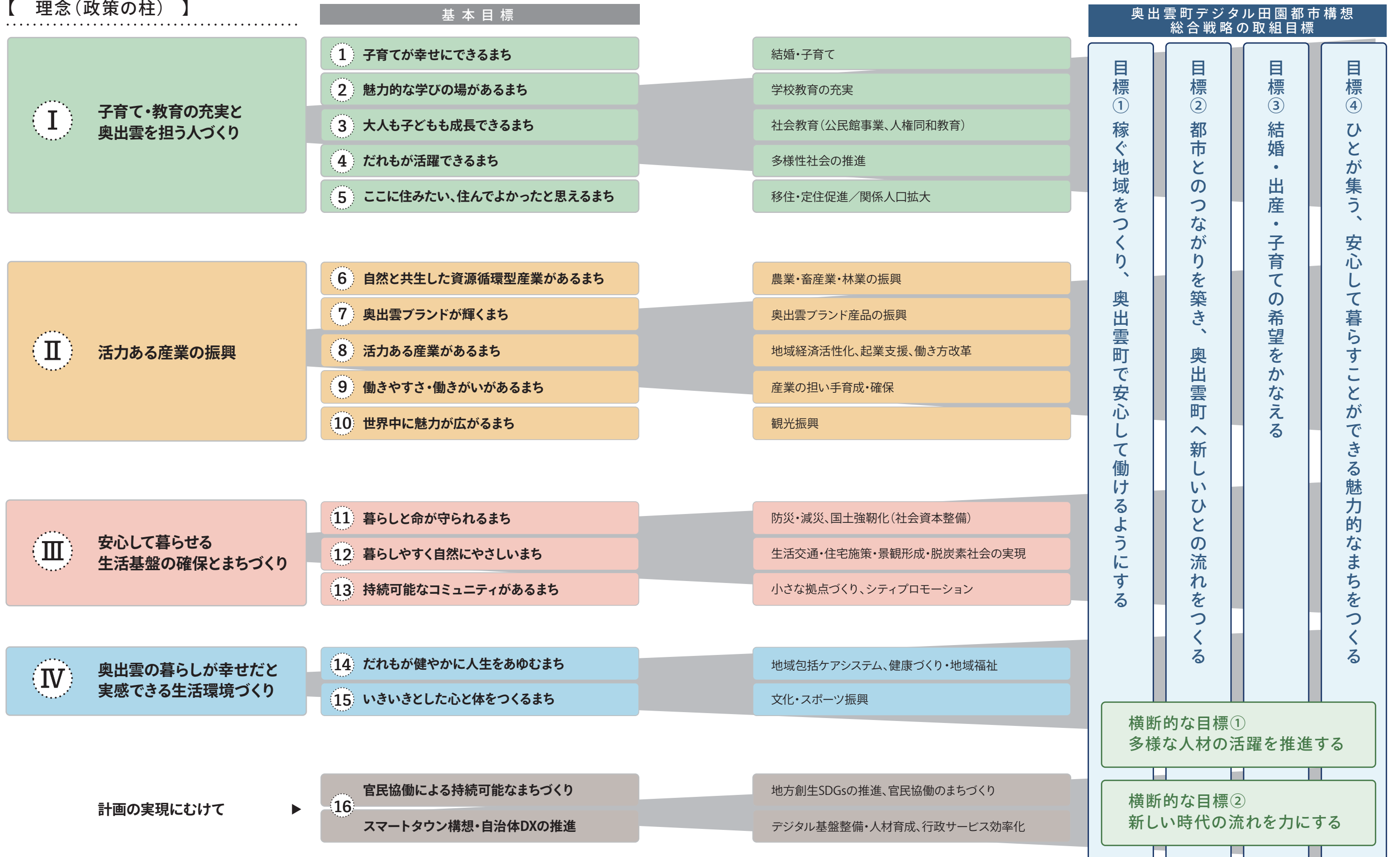


6 施策体系図

【 まちづくりの姿勢 】

様々な世代がチャレンジ・活躍できる「協働・共創」のまちづくり

【 理念（政策の柱） 】



【 奥出雲町のめざすべき姿 】

総力戦のまちづくり「奥出雲創生」
～つながりで築く 幸せと笑顔あふれるまち 奥出雲町～



総力戦のまちづくり「奥出雲創生」 ～つながりで築く 幸せと笑顔あふれるまち 奥出雲町～

様々な世代がチャレンジ・活躍できる「総力戦」のまちづくり

安心して暮らせる 生活基盤の確保とまちづくり



奥出雲の暮らしが幸せだと 実感できる生活環境づくり



計画の実現にむけて

～全ての行政分野で推進すること～

